

視聴覚教育

NO 152

発行日
元. 5. 10発行
岡崎市AVL編集
広報委員会

各校でのほたらきかけを

— 視聴覚教育の充実をめざして —

現職教育視聴覚部部长 高橋岩雄

柔らかな日差しの中、北中で行われた現職教育総会に続いて、視聴覚部会が開かれた。そして平成元年度の運営組織や研究の大綱が決まり、今年の視聴覚部が力強くスタートした。

毎年、研究主題に即した各校の取り組みはすばらしいものがあり、授業はもちろん、諸活動においてもその成果を実証している。昨年も常磐南小の論文「豊かな感性を育てる視聴覚教育」が文部大臣賞を受賞した。

一方、視聴覚部の自作ビデオは、県コンクールにおいて、最優秀賞一点（春を告げるアカガエル）常磐南小三浦教諭、優良賞二点（駒ヶ原の野菜づくり、燈籠づくり）社会部と合同）が受賞、更に八ミリ映画部門で優秀賞（岡崎花火）ライブラリー）を受賞した。

また、TPでは特選五点、入選一五点といった輝かしい成果をおさめている。

各部門のこのような受賞は、岡崎の視聴覚教育の水準の高さを示しているものであり、県下はもちろん、全国からも大いに注目を集めている。ここに至るまでには、先輩の並々ならぬ努力と、時間や労を惜しまず、研究実践を続けた先生方の教育への情熱があったからである。

また、こうした現場に、常々、視聴覚設備、機器の充実にご理解くださっている市当局、市教委の適切なご指導も忘れてはならない。

昨年の十月、松下視聴覚教育財団のご支援を受けて行われた全国視聴覚教育研究会岡崎大会が成功裏に終わり、高い評価を受けているのも、こうした各位の大きな力があつたからである。この暖かいご高配を無にせず、一致協力して研究を推進された会場校（甲山中、井田小）の先生方に、今一度、お礼を申し上げる次第である。

今日の高度情報化社会の到来は、学校教育の改革にも及んでいる。今回の臨教審、教課審の答申も、情報化に対応する教育を提言している。それは、機器や資料の利用といったものではなく、それらの活用能力の育成を強調している。

各種の機器の導入により、ますます精密化する学習指導が、子どもたちにとって「わかるよるこび」となるには、まず先生方の手慣れた機器の正しい操作が何よりも要求される。その意味からも、視聴覚主任の各校でのほたらきかけが、いつそう期待される。



研究方針と組織決定!!

■今年度の研究主題

視聴覚教材・機材を生かした授業のあり方を

追究しよう

■研究の重点

- (1) パソコン機能の理解とその活用法の研究
- (2) 学習効果を高める放送学習の実践
- (3) 授業で生かせる自作視聴覚教材の制作とその活用
- (4) 視聴覚教室やアナライザー教室の総合的な活用
- (5) 双方向システム活用法の研究

■組織

- 部長 高橋 岩雄(常磐南小長)
- 部長 高瀬 昭三(竜南中長)
- 部長 加藤 憲尚(井田小長)
- 指導員 高木 和広
- 世話係 山田 賛平(竜南中)
- 市橋 章男(城北中)
- 萩原 寛(六中小)
- 加藤 尚(緑丘小)

- ライブラリー 宮田 典彦
- 職員 山内 薫

運営委員

- 原田 平(六中)
- 桑木富士子(井田小)
- 内藤 法雄(矢南小)
- 杉浦 修(甲山中)
- 小栗 正貴(北中)
- 八田 敏公(連尺小)
- 小川 規博(竜海中)
- 寛 哲也(城南小)

各種大会・研究会のお知らせ

★愛知県放送教育特別研究会

8月11日・12日

名古屋市

★東海北陸地区視聴覚ライブラリー

研究協議会

8月22日・23日

岡崎市

★くらしに生かす放送利用地方研究集会

10月5日・6日

富山市

★全国視聴覚教育研究大会

10月19日・20日

横浜市

★放送教育研究全国大会

10月26日・27日

広島市

★放送教育研究会東海北陸大会

11月24日・25日

三重県河芸町

ビデオ16ミリ映画のご利用を!

ライブラリーでは、自作ビデオ等のダビングを行ってまいります。ご使用のテープの背に番号名・所属を書いて送って下さい。(一番組一本テープに) また、16ミリ映画は配達・回収サービスを行っています。目録で選択し、必ず電話で予約して下さい。毎週火曜日に配達・翌週月曜日に回収にかがいます。詳しくは視聴覚主任・ライブラリーへ、☎25-3000(今年から目録は水色のものです)

▼中学校の修学旅行映画巡回予定 5・15↓6・8マデ

▼人事異動

四月の異動により、白井正壮指導員は矢南小へ、代つて美川中より、活躍が期待される高木和広先生が指導に当たられます。よろしくお願いたします。